







受付番号

申請時の免許証番号

*							
---	--	--	--	--	--	--	--

	( )						
--	-----	--	--	--	--	--	--

項番

30	事務所の名称						
----	--------	--	--	--	--	--	--

* 事務所コード			
----------	--	--	--

専任の取引主任者に関する事項 ( 続き )

41	登録番号								
	フリガナ								
	氏名								
	生年月日			年		月		日	確認欄 *

41	登録番号								
	フリガナ								
	氏名								
	生年月日			年		月		日	確認欄 *

41	登録番号								
	フリガナ								
	氏名								
	生年月日			年		月		日	確認欄 *

41	登録番号								
	フリガナ								
	氏名								
	生年月日			年		月		日	確認欄 *

41	登録番号								
	フリガナ								
	氏名								
	生年月日			年		月		日	確認欄 *

( 第五面 )

登録免許税納付書・領収証書・収入印紙又は証紙はり付け欄

( 消印をしてはならない )

備考（宅地建物取引業免許申請書 第一面～第五面）

1 各面共通関係

申請者は、\*印の欄には記入しないこと。

「申請時の免許書番号」の欄は、免許換え新規又は更新の場合にのみ記入すること。

この場合、免許権者については、下表により該当するコードを記入すること。

国土交通大臣（5）第100号の場合の記入例

申請時の免許証番号

00 (5) 100

山梨県知事（3）第3000号の場合の記入例

申請時の免許証番号

19 (3) 3000

00	国土交通大臣	16	富山県知事	32	島根県知事	51	北海道知事（石狩）
		17	石川県知事	33	岡山県知事	52	北海道知事（渡島）
02	青森県知事	18	福井県知事	34	広島県知事	53	北海道知事（檜山）
03	岩手県知事	19	山梨県知事	35	山口県知事	54	北海道知事（後志）
04	宮城県知事	20	長野県知事	36	徳島県知事	55	北海道知事（空知）
05	秋田県知事	21	岐阜県知事	37	香川県知事	56	北海道知事（上川）
06	山形県知事	22	静岡県知事	38	愛媛県知事	57	北海道知事（留萌）
07	福島県知事	23	愛知県知事	39	高知県知事	58	北海道知事（宗谷）
08	茨城県知事	24	三重県知事	40	福岡県知事	59	北海道知事（網走）
09	栃木県知事	25	滋賀県知事	41	佐賀県知事	60	北海道知事（胆振）
10	群馬県知事	26	京都府知事	42	長崎県知事	61	北海道知事（日高）
11	埼玉県知事	27	大阪府知事	43	熊本県知事	62	北海道知事（十勝）
12	千葉県知事	28	兵庫県知事	44	大分県知事	63	北海道知事（釧路）
13	東京都知事	29	奈良県知事	45	宮崎県知事	64	北海道知事（根室）
14	神奈川県知事	30	和歌山県知事	46	鹿児島県知事		
15	新潟県知事	31	鳥取県知事	47	沖縄県知事		

「役名コード」の欄は、下表より該当する役名のコードを記入すること

ア 個人の場合は記入しないこと

イ 代表取締役が複数存在するときは、そのすべての者について「01」を記入すること。

ウ 農業協同組合法等に基づく代表理事の場合には、「01」を記入すること。

エ 商法第188条第2項第9号の規定に基づき登記された共同代表については「10」を記入すること。

01	代表取締役（株式会社・有限会社）	04	代表社員（合名会社）	07	理事	14	執行役（株式会社）
02	取締役（株式会社・有限会社）	05	社員（合名会社）	08	監事	09	その他
03	監査役（株式会社・有限会社）	06	無限責任社員（合資会社）	13	代表執行役（株式会社）		

「登録番号」の欄は、宅地建物取引主任者である場合にのみ、その登録番号を記入すること。

（山梨県知事登録のコードは「19」）

（記入例）19—005000— 山梨県知事登録第5000号の場合

氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで姓と名の間に1文字空けて左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名」の欄も姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。

「生年月日」の欄は最初の には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、 に数字を記入するに当たっては、空位の に「0」を記入すること。

(記入例) H — 0 1 年 0 8 月 2 3 日

M	明治	S	昭和
T	大正	H	平成

(平成元年8月23日の場合)

「所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック(総務省編「全国地方公共団体コード」)により該当する市区町村のコードを記入すること。

### 市区町村コード(山梨県)

甲府市	19201	甲州市	19213	西桂町	19423
富士吉田市	19202	中央市	19214	忍野村	19424
都留市	19204	芦川村	19327	山中湖村	19425
山梨市	19205	市川三郷町	19346	鳴沢村	19429
大月市	19206	増穂町	19361	富士河口湖町	19430
韮崎市	19207	鯉沢町	19362	小菅村	19442
南アルプス市	19208	早川町	19364	丹波山村	19443
北杜市	19209	身延町	19365		
甲斐市	19210	南部町	19366		
笛吹市	19211	昭和町	19384		
上野原市	19212	道志村	19422		

「所在地」の欄は、 により記入した所在地市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、「丁目」「番」及び「号」をそれぞれ - (ダッシュ) で区切り、上段から左詰めで記入すること。

(記入例) 霞 が 関 2 - 1 - 3

申請者が未成年者である場合には、法定代理人の同意書を添付すること。

## 2 第一面関係

「免許の種類」の欄は該当する番号を記入すること。

「免許換え後の免許権者コード」の欄は「免許の種類」の欄において「2」を記入した場合にのみ上記1 の表より該当する免許換え後の免許権者コードを記入すること。この場合、免許換え後の免許権者が北海道知事である場合には51~64のうち該当するコードを記入すること。

商号又は名称の「フリガナ」の欄は、カタカナで上段から左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「商号又は名称」の欄も、上段から左詰めで記入すること。

「法人・個人の別」の欄は、該当する番号を記入すること。

代表者又は個人に関する事項については、法人の場合で代表者が複数存在するときは、申請者である代表者について記入し、その他の者については、第二面の役員に関する事項の欄に記入すること。

例えば、株式会社の場合で代表取締役が複数存在するときには、申請者である代表取締役について記入し、その他の者については、第二面の役員に関する事項の欄に記入すること。(第二面であっても代表取締役の役名コードは「01」を記入すること)

「兼業コード」の欄は、下表により該当する事業のコードを記入すること。なお、宅地建物取引業以外に行っている事業がない場合には「50」を記入すること。

01	農業	05	建設業	09	卸売・小売業、 飲食店	13	サービス業
02	林業	06	製造業			14	その他
03	漁業	07	電気・ガス・ 熱供給・水道業	10	金融・保険業		
04	鉱業	08	運輸・通信業	11	不動産賃貸業		
				12	不動産管理業		

「所属団体コード」の欄は、下表により該当する所属団体のコードを記入すること。なお、所属している不動産業関係業界団体がない場合には「50」を記入すること

01	(社)高層住宅管理業協会	07	(社)日本高層住宅協会
02	(社)日本住宅建設産業協会	09	(社)日本ビルディング協会連合会の会員である各協会
03	(社)全国住宅宅地協会連合会の会員である各協会	10	(社)不動産協会
04	(社)全国宅地建物取引業協会連合会の会員である各協会	11	(社)不動産流通経営協会
05	(社)全日本不動産協会	12	その他
06	(社)都市開発協会		

「資本金」の欄は、法人の場合にのみ右詰めで記入すること

### 3 第二面関係

第二面は、申請者が法人の場合にのみ記入すること。

役員に関する事項の欄は、第一面に代表者として記入した者については記入しないこと。

第二面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること

### 4 第三面関係

第三面は、項番 30 の事務所ごとに作成すること。

「事務所の別」の欄は、該当する番号を記入すること。

「電話番号」の欄は、市外局番、市内局番、番号をそれぞれ - (ダッシュ) で区切り、左詰めで記入すること。

(記入例) 0 | 5 | 5 | - | 2 | 2 | 3 | - | 1 | 7 | 3 | 0

「従事する者の数」の欄は、右詰めで記入すること。この場合に、「従事する者」には、営業に従事する者のみならず、宅地建物取引業に係る一般管理部門に所属する者や補助的な事務に従事する者も含めること。

また、申請者が個人である場合において、その家族が宅地建物取引業に従事し、又は従事しようとしているときは、その者についても記入すること。

なお、宅地建物取引業を他の事業と兼業する場合は、宅地建物取引業に従事する者についてのみ記入すること。

### 5 第四面関係

「専任の取引主任者に関する事項(続き)」の欄には、第三面に記載しきれない場合に使用することとし、第三面の次に添付すること。

第四面は、項番 30 の事務所ごとに作成すること。

第四面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること

宅地建物取引業経歴書

1 事業の沿革

最初の免許	組 織 変 更					
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

2 事業の実績

イ．代理又は媒介の実績

期 間	種 類 内 容	年 月 日 から 年 月 日 まで の 1 年 間		年 月 日 から 年 月 日 まで の 1 年 間		年 月 日 から 年 月 日 まで の 1 年 間		年 月 日 から 年 月 日 まで の 1 年 間		年 月 日 から 年 月 日 まで の 1 年 間	
		売 買 交 換	賃 借	売 買 交 換	賃 借	売 買 交 換	賃 借	売 買 交 換	賃 借	売 買 交 換	賃 借
宅 地	件 数	-----		-----		-----		-----		-----	
	価 額 (千円)										
	手 数 料	-----		-----		-----		-----		-----	
建 物	件 数	-----		-----		-----		-----		-----	
	価 額 (千円)										
	手 数 料	-----		-----		-----		-----		-----	
宅 地 及 び 建 物	件 数	-----		-----		-----		-----		-----	
	価 額 (千円)										
	手 数 料	-----		-----		-----		-----		-----	
合 計	件 数	-----		-----		-----		-----		-----	
	価 額 (千円)										
	手 数 料	-----		-----		-----		-----		-----	

## ロ．売買・交換の実績

種 類		期 間		年 月 日が	年 月 日が	年 月 日が	年 月 日が	年 月 日が
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
				の1年間	の1年間	の1年間	の1年間	の1年間
売	宅地	件数						
		価額 (千円)						
	建物	件数						
		価額 (千円)						
却	び宅 建地及 建物	件数						
		価額 (千円)						
	合計	件数						
		価額 (千円)						
購	宅地	件数						
		価額 (千円)						
	建物	件数						
		価額 (千円)						
入	び宅 建地及 建物	件数						
		価額 (千円)						
	合計	件数						
		価額 (千円)						
交	宅地	件数						
		価額 (千円)						
	建物	件数						
		価額 (千円)						
換	び宅 建地及 建物	件数						
		価額 (千円)						
	合計	件数						
		価額 (千円)						

## 備 考

- 1 新規に免許を申請する者は、「最初の免許」の欄に「新規」と記入すること。
- 2 「組織変更」の欄には、合併又は商号若しくは名称の変更について記入すること。
- 3 「期間」の欄には、事業年度を記入すること。
- 4 「売買・交換」の欄には、上段に売買の実績を、下段に交換の実績を記入すること。

# 誓 約 書

申請者、申請者の役員、令第2条の2に規定する使用人  
及び法定代理人は、法第5条第1項各号に該当しない者で  
あることを誓約します。

年 月 日

商号又は名称

氏 名

印

（法定代理人名

印）

関東地方整備局長  
山梨県知事 殿

## 専任の取引主任者設置証明書

下記の事務所は、宅地建物取引業法第15条第1項に規定する要件を備えていることを証明します。

年 月 日

関東地方整備局長  
山梨県知事 殿

商号又は名称

氏 名

印

（法人にあっては代表者の氏名）

記

事務所の名称	所在地	専任の取引主任者の数	宅地建物取引業に従事する者の数
		名	名
		名	名
		名	名
		名	名

添付書類（４）

（第一面）

（A4）

1 5 0

相談役及び顧問（法人の場合）

受付番号

\*

申請時の免許証番号

( )

51	役名コード	<input type="text"/>	就任年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日
	フリガナ	<input type="text"/>							
	氏名	<input type="text"/>							
	生年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日		
	住所市区町村コード	<input type="text"/>	都道府県		<input type="text"/>	市郡区	<input type="text"/>	区町村	
	住所	<input type="text"/>							

確認欄  
\*

51	役名コード	<input type="text"/>	就任年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日
	フリガナ	<input type="text"/>							
	氏名	<input type="text"/>							
	生年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日		
	住所市区町村コード	<input type="text"/>	都道府県		<input type="text"/>	市郡区	<input type="text"/>	区町村	
	住所	<input type="text"/>							

確認欄  
\*

51	役名コード	<input type="text"/>	就任年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日
	フリガナ	<input type="text"/>							
	氏名	<input type="text"/>							
	生年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日		
	住所市区町村コード	<input type="text"/>	都道府県		<input type="text"/>	市郡区	<input type="text"/>	区町村	
	住所	<input type="text"/>							

確認欄  
\*

51	役名コード	<input type="text"/>	就任年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日
	フリガナ	<input type="text"/>							
	氏名	<input type="text"/>							
	生年月日	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日		
	住所市区町村コード	<input type="text"/>	都道府県		<input type="text"/>	市郡区	<input type="text"/>	区町村	
	住所	<input type="text"/>							

確認欄  
\*



## 備考（添付書類4 第一面・第二面）

### 1 各面共通関係

この書面は、申請者が法人である場合にのみ記入すること。

申請者は、\*印の欄には記入しないこと。

「申請時の免許証番号」の欄は、免許換え新規又は更新の場合にのみ記入すること。

この場合、免許権者については、下表により該当するコードを記入すること。

国土交通大臣（5）第100号の場合の記入例

0 0 (5) 1 0 0

山梨県知事（3）第3000号の場合の記入例

1 9 (3) 3 0 0 0

「所在地市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により該当する市区町村のコードを記入すること。

「住所」及び「住所又は所在地」の欄は、により記入した住所市区町村コード及び市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、「丁目」「番」及び「号」をそれぞれ -（ダッシュ）で区切り、上段から左詰めで記入すること。

（記入例） 霞 が 関 2 - 1 - 3

申請者が未成年者である場合には、法定代理人の同意書を添付すること。

### 2 第一面関係

「役名コード」の欄は、下表より該当する役名のコードを記入すること。

11	相談役
12	顧問

「就任年月日」及び「生年月日」の欄は、最初のには下表より該当するコードを記入するとともにに数字を記入するに当たっては、空位のに「0」を記入すること。

（記入例） H — 0 1 年 0 8 月 2 3 日  
（平成元年8月23日の場合）

M	明治	S	昭和
T	大正	H	平成

氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名」の欄も、姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。

### 2 第二面関係

氏名または名称の「フリガナ」の欄は、カタカナで左詰めで記入し、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名又は名称」の欄も、左詰めで記入すること。なお株主又は出資者が個人である場合には、姓と名の間に1文字分空けて記入すること。

「生年月日」の欄は、株主又は出資者が個人の場合にのみ記入すること。その場合に最初のには下表より該当する元号のコードを記入するとともに、に数字を記入するに当たっては、空位のに「0」を記入すること。

（記入例） H — 0 1 年 0 8 月 2 3 日  
（平成元年8月23日の場合）

M	明治	S	昭和
T	大正	H	平成

「割合」の欄は、株式会社にあつては該当する株主につき保有株式の発行済株式総数に対する割合を、その他の法人にあつては該当する出資者につき出資金額の出資金総額に対する割合を記入すること

添付書類（ 5 ）

事務所を使用する権原に関する書面

事 項	所 有 者	事務所の所有者が申請者と異なる場合				
		契約相手	契 約 日	契約期間	契約形態	用 途
(事務所名) (所在地)						
(事務所名) (所在地)						
(事務所名) (所在地)						
(事務所名) (所在地)						
(事務所名) (所在地)						

上記の記載内容について、事実と相違ないことを誓約します。

年      月      日

商号または名称

氏                  名

印

備 考

- 1 「所有者」の欄は、事務所の所有者の氏名又は法人名（法人の代表者名を含む。）を記入すること。
- 2 「事務所の所有者が申請者と異なる場合」の欄は、事務所の所有者が免許申請者と異なる場合にのみ次により記入すること。
  - 「契約形態」の欄は、賃貸借又は使用貸借の別を記入すること。
  - 「用途」の欄は、土地建物登記簿謄本、建物賃貸借契約書又は建物使用貸借契約書等に記載された用途（住居、事務所等）について記入すること。

添付書類 ( 6 )

# 略 歴 書

住 所	電話番号 (            )            -		
(カガナ) 氏 名	生年月日		年    月    日
職 名	登録番号		
職 歴	期 間	従 事 し た 職 務 内 容	
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		
	自 年 月 日 至 年 月 日		

上記のとおり相違ありません。

年    月    日

氏 名

印

## 添付書類（ 7 ）

## 資産に関する調書

年 月 日現在

資 産	価 格	摘 要
資 産		
現金預金		
有価証券		
未収入金		
土地		
建物		
備品		
権利		
その他		
計		
負債		
借入金		
未払金		
預り金		
前受金		
その他		
計		

## 備考

- 1 この調書は、個人の業者のみが記入すること。
- 2 「権利」とは、営業権、地上権、電話加入権その他の無形固定資産をいう。

宅地建物取引業に従事する者の名簿

受付番号  申請時の免許証番号  ( )

事務所の名称

事務所コード

従事する者  名 うち専任の取引主任者  名

項番

61		業 務 に 従 事 す る 者						
	氏 名	生 年 月 日	性 別	従業者証 明書番号	主たる 職務内容	取引主任者で あるか否かの別		
1			1.男 2.女			[ ]		
2			1.男 2.女			[ ]		
3			1.男 2.女			[ ]		
4			1.男 2.女			[ ]		
5			1.男 2.女			[ ]		
6			1.男 2.女			[ ]		
7			1.男 2.女			[ ]		
8			1.男 2.女			[ ]		
9			1.男 2.女			[ ]		
10			1.男 2.女			[ ]		
11			1.男 2.女			[ ]		
12			1.男 2.女			[ ]		
13			1.男 2.女			[ ]		
14			1.男 2.女			[ ]		
15			1.男 2.女			[ ]		
16			1.男 2.女			[ ]		
17			1.男 2.女			[ ]		
18			1.男 2.女			[ ]		
19			1.男 2.女			[ ]		
20			1.男 2.女			[ ]		
21			1.男 2.女			[ ]		
22			1.男 2.女			[ ]		
23			1.男 2.女			[ ]		
24			1.男 2.女			[ ]		
25			1.男 2.女			[ ]		

確認欄  
\*

## 備考（添付書類 8 宅地建物取引業に従事する者の名簿）

この書面は、事務所ごとに作成すること。

申請者は、\*印の欄には記入しないこと。

「申請時の免許証番号」の欄は、免許換え新規又は更新の場合にのみ記入すること。

この場合、免許権者については、下表により該当するコードを記入すること。

国土交通大臣（5）第100号の場合の記入例

0	0
---	---

（5）

			1	0	0
--	--	--	---	---	---

山梨県知事（3）第3000号の場合の記入例

1	9
---	---

（3）

			3	0	0	0
--	--	--	---	---	---	---

「宅地建物取引業に従事する者」の欄には、営業に従事する者のみならず、宅地建物取引業に係る一般管理部門に所属する者や補助的な事務に従事する者も含めること。

また、申請者が個人である場合において、その家族が宅地建物取引業に従事し、又は従事しようとしているときは、その者についても記入すること。

なお、宅地建物取引業を他の事業と兼業する場合には、宅地建物取引業に従事する者についてのみ記入すること。

「氏名」の欄は、姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。

「生年月日」の欄は、最初の には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、 に数字を記入するに当たっては、空位の に「0」を記入すること。

（記入例）

H
---

—

0	1
---	---

年

0	8
---	---

月

2	3
---	---

日  
（平成元年8月23日の場合）

M	明治	S	昭和
T	大正	H	平成

「性別」の欄は、該当する番号を で囲むこと

「従業者証明書番号」の欄は、法第48条第1項の証明書の番号を記入すること。なお、新規の免許の申請の場合には、あらかじめ同項の証明書の番号を定め、その番号を記入すること。

取引主任者である者については[ ]内に登録番号を記入し、このうち専任の取引主任者である者については、[ ]の前に 印を付けること

[東京都知事登録第000100号である専任の取引主任者の場合]

記入例 

[(東京)000100]
--------------

この書面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること。

# 顔写真貼付用紙

## 代表者の顔写真

上半身脱帽・正面向き  
申請前6ヶ月以内に  
撮影したものでカラー

タテ 4 c m  
ヨコ 3 c m

1. 氏 名 \_\_\_\_\_

2. 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

3. 事務所名 \_\_\_\_\_

( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日撮影)

## 専任の取引主任者の顔写真

上半身脱帽・正面向き  
申請前6ヶ月以内に  
撮影したものでカラー

タテ 4 c m  
ヨコ 3 c m

1. 氏 名 \_\_\_\_\_

2. 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

3. 事務所名 \_\_\_\_\_

( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日撮影)

## 専任の取引主任者の顔写真

上半身脱帽・正面向き  
申請前6ヶ月以内に  
撮影したものでカラー

タテ 4 c m  
ヨコ 3 c m

1. 氏 名 \_\_\_\_\_

2. 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

3. 事務所名 \_\_\_\_\_

( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日撮影)

備考 副本にも写真を貼付し、コピーは不可

# 事務所の写真

事務所の名称 \_\_\_\_\_

11.2cm

写 真 貼 付

(サービス版)

7.6cm

11.2cm

写 真 貼 付

(サービス版)

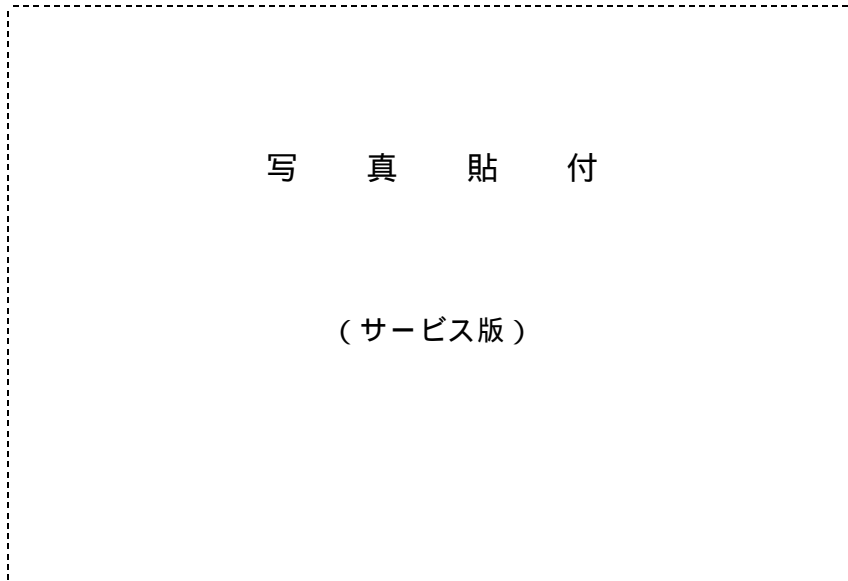
7.6cm

- (注) 1 . ( 外 観 ) 事務所の入口・看板を含め建物全景が確認できる必要枚数を貼付  
2 . ( 内 部 ) 机、応接セット、電話、FAX 等が確認できる必要枚数を貼付する  
3 . ( 更新申請の場合 ) 業者票掲示・報酬額掲示の状況が確認できるものを加える  
4 . ( ビル等の内部にある事務所 ) 建物入口と事務所入口の両方を貼付する  
5 . 申請前6ヶ月以内に撮影したもので必ずカラー写真  
(デジタルカメラで撮影した写真でも鮮明であれば可・ポラロイド写真は不可)  
6 . 用紙は必要枚数に応じてコピーして下さい  
7 . 副本にも写真を貼付し、コピーは不可

# 事務所の写真

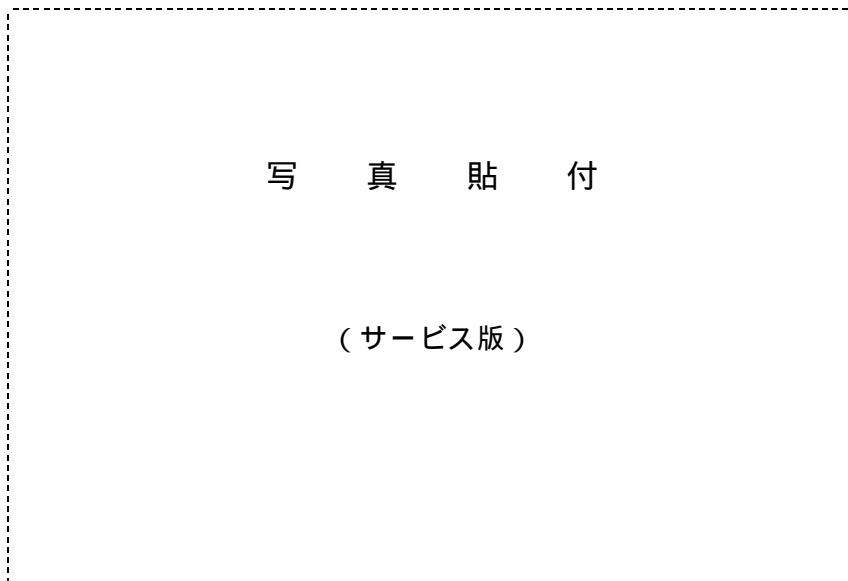
事務所の名称 \_\_\_\_\_

11.2cm



7.6cm

11.2cm



7.6cm

- (注) 1. (外観) 事務所の入口・看板を含め建物全景が確認できる必要枚数を貼付  
2. (内部) 机、応接セット、電話、FAX 等が確認できる必要枚数を貼付する  
3. (更新申請の場合) 業者票掲示・報酬額掲示の状況が確認できるものを加える  
4. (ビル等の内部にある事務所) 建物入口と事務所入口の両方を貼付する  
5. 申請前6ヶ月以内に撮影したもので必ずカラー写真  
(デジタルカメラで撮影した写真でも鮮明であれば可・ポラロイド写真は不可)  
6. 用紙は必要枚数に応じてコピーして下さい  
7. 副本にも写真を貼付し、コピーは不可

# 事務所の案内図

	方角を記入
--	-------

- (注) 1.最寄りの駅、道路、目標物等を記入して主たる事務所の位置を明示して下さい。  
2.従たる事務所がある場合は、この用紙をコピーして、その事務所の位置を明示して下さい

# 免許申請者等に関する調書

区 分	フリガナ 氏 名	本 籍 地
	生 年 月 日	戸 籍 筆 頭 者 氏 名
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	
	明・大・昭 年 月 日	

(注) 区分欄には、代表者、取締役、監査役、相談役、顧問、政令第2条の2で定める使用人、法第15条1項に規定する者、規則第1条の2第1項第2号に規定する株主又は出資をしている者等の別を記載する。

氏名には必ずフリガナを付けること。